

■リビングのアクセントに

日当たりの良いリビングならフェニックス、スロベレニー、アレカヤシ、ヤシモドキ、オーガスタなどがおすすめです。一年を通して、毎日、鉢底からたっぷり流れ出るほど水をやります。葉の先端が乾燥して枯れやすいので、霧吹きはマメに。月に一度は殺虫剤で消毒した方がよいでしょう。

日当たりが悪いリビングには、ドラセナ、アオナーネッキー、ドラセナマッサンゲアナ、マンゲーカズラなどがいいでしょう。春夏は週に1回程度、秋冬は月に1回程度、土の表面が乾いたら、鉢底から流れ出るほど水をやり、受け皿にたまった水は捨てましょう。葉の表面にほこりがついたら、湿らせた布で拭き取ります。

■住まいの顔「玄関」にも

家に入って真っ先にグリーンに出迎えられるのもすてきなことです。ある程度高さのあるものなら家のシンボルツリーにもなります。

日当たりの良い玄関ならサボテンやサンセベリアローレンチ、アロエなどの多肉植物やユッカ、一方、日があまり当たらない

スペースには、耐陰性のあるシュロチク、カンノンチクなどがおすすめです。

■狭い空間には

サニタリーやトイレなどの狭いスペースにはミニグリーンを。日当たりが良い場所はポトスがお勧め。日当たりが悪いならポトスライムやドラセラコンパクトがいいでしょう。熱がこもりやすい夏は、窓から離して風通しを良くします。寒さに弱いので、冬はくみ置いたぬるめの水をやります。鉢を置くスペースがない場合は、新芽を切って、水を入れたコップに飾ってもアクセントになります。

■忙しい人向けのグリーン

こまめに水をやる時間もない、留守をしがちななど、忙しい人には乾燥に強い多肉植物のサボテンやサンセベリアローレンチ、アロエ、パイナップル科のエアプランツなどがおすすめです。

■レンタルを利用して

観葉植物は比較的手入れが簡単ですが、それでも「忙しいから世話は苦手」とか、



「背の高いグリーンを置きたい」、「日の当たらない場所でも置きたい」などの場合には、観葉植物のレンタルを利用する方法もあります。

埼玉県インドア・グリーン協会では、オフィスやお店にグリーンをレンタルしていますが、一般家庭にもレンタルは可能です。

グリーンの種類やサイズは、値段に応じてさまざまなタイプがあるので、埼玉県インドア・グリーン協会へお気軽にお問合せください。

◆観葉植物の育て方の基本

- 選び方は、気候や置き場所の条件（日当たり、湿度、乾燥など）に合うものを選ぶ。
- 土の表面が乾いたら、水を葉ではなく根元へ与える。
- 葉が大きなものは、葉の表面を水拭きし、汚れを拭き取ると、植物が呼吸しやすくなり、光合成もしやすくなる。
- 日陰においてある場合は、たまに自然の風に当たったり、日の当たる場所へ移動し、日光浴させる。

◆土のいらない水耕栽培

発泡煉石（ハイドロカルチャー）を使うと、鉢穴がない容器でも、水耕栽培でグリーンが育てられます。培養土に比べて根の張りが弱くなるので、ポトスやテーブルヤシ、セブリナなど小さくて強い品種が適しています。虫も発生しにくい上に、白い石などをあしらえば見た目もおしゃれ。ただし、根腐れにはご注意ください。お気に入りのカラフルなカップやグラスにグリーンをあしらえば、テーブルに置いてみてもかわいいですね。

